

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第Ⅱ項 学芸 学部 国際教養 学科

出身高校名 京都市立西京高等学校

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は、大学生活で英語の技能を伸ばすために、長期留学と絶対にしたいと考えていました。同志社女子大学学芸学部国際教養学科では、少人数のクラス編成で、1年間の留学と軸としたカリキュラムに沿って学ぶことが出来ると知り、興味を持ちました。さらに調べてみると、国際教養学科では英語を学ぶだけでなく、英語で社会問題などと学ぶ授業があると知り、とても魅力的だったので志望しました。

(2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

同志社女子大学が第一志望校だったのでAO入試で行われる、自己アピール・志望理由・課題レポートなどの書類審査や、面接で、直接熱意を伝えることが出来ると思ったからです。また、実用英語技能検定など、これまでの努力を評価してもらえる知り、AO方式入学者選抜を受けようと思いました。

(3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

クラブ活動、高校での英語の授業、実用英語技能検定をアピールしました。クラブ活動で副部長をしていたこと、英語の授業でディベートやALTと1対1で会話をしたことなどを面接と書類の自己アピールの欄でアピールしました。

(4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

自分の思いが明確に伝わるように、具体的に書くことを意識しました。志望理由では、同志社女子大学でなければいけない理由や、入学後どのようなことを学び、研究したいのか、大学生活4年間を通してどのような力を身につけるのかということと何度も練り直しました。課題レポートでは、質問の文章に対して詳しく正確に答えることが出来ているか注意しながら作成しました。これらを学校の先生に添削してもらい、2ヶ月かけて作成しました。

〔面接〕

事前に質問を予想し、伝えたいことを頭の中で整理し、まとめました。英語での面接に向けて、高校のALTに練習をお願いしました。本番は、笑顔で面接官の目を見て、ゆっくり丁寧にハキハキ話すことを心がけました。

(5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO入試を通して、自分の強みや将来やりたいことが少し明確になったのでAO入試に出願して良かったと思っています。他者に自分の意見を正確に伝えることの難しさを改めて感じ、足りない力も見つけることが出来ました。面接の日、私はとても緊張していましたが、受験生の話をあたりに聞いて下さる雰囲気だったので話しやすかったです。同志社女子大学を第一志望校としている方はAO入試に挑戦してやるのも良いと思います。